

社会学級の方々をお迎えして

5月の中旬頃、遺愛の卒業生から電話があり、函館市内の小学校で社会学級のお世話をしていて、ぜひ「講座」の一つとして遺愛を訪問したいとのお話がありました。函館の社会学級は、成人を対象とした生涯学習の場として昭和22年の創設以来、66年間の長い歴史をもちます。現在、函館市内30の小中学校で開設され、20代から80代まで幅広い年齢層の市民約750人が活動しています。社会学級は「講座」と「クラブ活動」の2つの学習活動をしており、今回は「講座」としての遺愛見学でした。

もちろん熱烈大歓迎で、二つ返事でお受けしました。その後何度かお電話をいただき、はじめは数名でもいいですか？という話でしたが、1週間前の電話では45名になり、当日6月12日は55名の方がいらして下さいました。講堂でパイプオルガンの演奏を聴いていただき、遺愛のキャンパス、校舎、生徒の様子をパワーポイントやビデオを用いて説明いたしました。昨年の夏、SKEというグループの楽曲プロモーションビデオのロケが遺愛で行われたのですが、内容は遺愛のキャンパス、校舎がふんだんに映像として盛り込まれているもので、そのビデオも見ていただきました。その後、築105年で国の重要文化財の本館やホワイトハウス（旧宣教師館）の見学をしていただき、1時間半ほどでしたが、ふだんなかなか見ることができない遺愛を知っていただきました。



なお、毎年恒例のホワイトハウス一般公開は、今年は7月25～27日（木～土）10:00-14:00です。どうぞたくさんの方々の来校をお待ちしています。

2013年6月13日